

地域の多様な人材が生きる防災～高齢者・障がい者・女性・子どもの視点で～

- 1 目的 男女共同参画社会の実現に向けて、性別にかかわらず、互いの能力や個性を充分発揮できる環境づくりへの理解を深め、実践につなげる。
- 2 対象 全職員
- 3 定員 56人
- 4 日程 令和3年11月5日(金)
- 5 会場 高知県自治会館2階 こうち人づくり広域連合研修室(高知市本町4丁目1-35)
- 6 持参物 職場でお使いの名札

カリキュラム		時間	講師
13:30	1 大規模災害の現実とパンデミック下で考慮すべきこと 2 性別・立場別にみた災害時の困難	3.0	減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 浅野 幸子 (あさの さちこ) 【略歴】 阪神・淡路大震災に際して学生ボランティアから国際協力NGOのスタッフとなり、在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興支援などに4年間従事。その後、(財)消費生活研究所などで事務局・研究員として勤める。この間、働きながら法政大学院修士課程修了(政策科学修士)。2011年に発足した東日本大震災女性支援ネットワークに参加。2014年より、後継団体の減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表。主な分野は地域防災。各地で防災講演・講座・研修を行いながら、「避難所運営ガイドライン」(内閣府・2016)、「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」(内閣府・2020)など、国・自治体の防災政策にも関わる。
16:30	3 男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン		
	4 地域の多様な人材が生きる防災		
	5 “持続可能な社会づくり”が高める“地域防災力”		
	6 質疑		

<担当者から>

男女共同参画の視点を取り入れた地域防災とは・・・?
講師が大震災の被災者支援に携わる中で見えてきた防災のポイントを教えてください。
自分の自治体は大丈夫と慢心するのではなく、今一度、考えてみませんか。

こうち人づくり広域連合 担当:森田 素子
高知市本町4丁目1-35 高知県自治会館4階
TEL : 088-873-0333
FAX:088-872-7716
E-mail:kouiki@kochi-hitozukuri.or.jp
HP : http://www.kochi-hitozukuri.or.jp